

# ソンクラーンで市民交流

タイでは、4月13日から15日の3日間が旧正月に当たります。旧正月には家族が一堂に集まり、お清めを行ったといいます。そのお清めが発展し、タイ全土で「ソンクラーン（水掛けまつり）」という行事として盛大に行われます。道行くバイクや車をめがけて水を掛ける一方トラックなどの遠藤に向けて荷台からも水しぶきが上がり、町全体で水が飛び交うといった状況です。城西病院グループも13日にソンクラーンに参加しました。メーサイ市役所やメーサイ病院、メーサイ消防署の人たちも一緒に、ソンクラーンを楽しみ、新年を祝いました。

一行は、主要道路の国道1号線で、祭りに参加した車やバイクめがけて勢よく水をまき、トラックから水を浴びせられて、びしょ濡れの状態。その後、トラックの荷台など2台の車両に分乗し、町を回りました。トラックめがけてバケツや水鉄砲、ホースで水のシャワーを浴び、荷台からは水を撒いて、メーサイの市民たちと触れ合いました。

研修では、メーファールワン財団が運営する、かつて麻薬地帯だった広大な庭園や麻薬博物館、国境や国境地帯の朝市などを視察しました。

平成28年4月20日



エネルギーギッシュなメーサイの朝市



かつての麻薬地域が庭園に



水しぶきの舞うソンクラーン